

祝辞

前年度受章者代表
東京都板橋区



平岩 宏子

令和五年度、日本善行会春季・特別善行表彰に際しまして、受賞されました皆様には、長年にわたり各種の善行実践活動や、善行精神の啓発にも貢献されて誠にありがとうございます。ここ数年、世界中にコロナウィルスの感染拡大が繰り返され、延び、なかなか収まらず、全ての行事が中止となり、誠に残念な日常でございました。春季・特別善行表彰を受賞されました方々には今年度、

活を過ごすことができず、コロナ禍の下で体験いたしました。毎日を生活する中で善行は、心身ともに豊かな心が育ち、そして人々の間に善行精神が育まれていくことでしよう。善行は、社会を照らすともしびを合言葉にこれからもお仲間の方々と共に、善行活動を続けてまいります。広く青少年健全育成に関わり四十数年になりますが、青少年を取りまく社会環境も著しく変化していく中、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を願う活動を重ねて、安全で安心な明るい町づくりを努めたいと思います。最後に、本日表彰式にご出席された皆様はじめ、各方面の方々がますますご健勝でご活躍されますようお祈り申し上げます。とさせていただきます。

答辞

受章者代表
沖縄県うるま市



糸数 昌弘

この度、明治神宮参集殿におきまして特別善行金章という身に余る賞をいただき、誠にありがとうございます。各分野でご活躍され受賞されました皆様を代表いたしまして感謝と御礼を申し上げます。私は長年、子ども会活動に携わり平成七年に善行章をいただき、その後幅広く地域に貢献出来るように、民生委員児童委員や少年補導員として携

わって参りました。青年の取り巻く環境が大きく変わる中、保護司として青少年の健全育成にも全力で取り組み、子どもたちの居場所作り、就労支援等を通して学んだのは地域・各団体機関との連携が特に重要だと感じました。近年社会情勢が複雑化している中、インターネット社会におけるサイバー犯罪等に子どもたちが巻き込まれることも多くなってきました。その子どもたちを守るのは私たち善行会の役割だと思っております。私自身、自分の好きなことに情熱を傾け活動してきたに過ぎません。その活動がこのような形で評価していただけたことは、この上ない喜びであります。各分野で活動している方々にとっても大きな励みとなるものであると思います。私たち一同、この榮譽を励みとし、これからも一層の研鑽を重ね、それぞれの活動に引き続き精進してまいりたいと存じます。簡単ではありますが、日本善行会の益々の発展を祈念して私の答辞とさせていただきます。本日は妻と共に受賞式に参加できたことを喜びたいと思います。

祝電を

寄せられた方々
(順不同敬称略)

- 茨城県知事 大井川和彦
- さいたま市長 清水 勇人
- 大田区長 鈴木 晶雅
- 武蔵野市長 松下 玲子
- 各務原市長 浅野 健司
- 米空軍横田基地 第三七四空輸航空団司令官 アンドリュウ・ラダン大佐
- 一般社団法人日本善行会 常務理事・宇都宮支部長 松本力ネ子

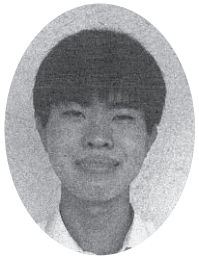
入会のおさそい

一般社団法人日本善行会では、善行の普及と実践を通じ、明るく住みよい社会環境づくりに努めております。活動をご支援いただくために、広く会員をおさそい下さい。

- 会員の種類
 - ①普通会員(正会員)
 - 個人 年額 五千元
 - 法人 年額 一万元
 - ②特別会員(正会員)
 - 個人 年額 一万元
 - 法人 年額 三万円
 - ③賛助会員
 - 個人 年額 千円以上
- ※明るいニュース年間購読料五百円含む

答辞

受章者代表
広島県呉市



呉市立郷原中学校生徒会

この度は、ここ明治神宮参集殿におきまして、春季善行表彰を頂戴し、受賞者を代表いたしまして心よりお礼申し上げます。私は、広島県南西部に位置します映画「この世界の片隅に」の舞台になった町、また

「大和ミュージアム」があります広島県呉市の郷原中学校生徒会長の小栗孝介です。私たちの郷原中学校は、校訓「自律」の精神の育成を目指し、教育活動に取り組んでいます。私たちを含めた歴代の生徒会も「自律」の精神のもと、地域貢献やボランティア活動に力を入れて長年活動してまいりました。その中でも、特に今年度で十九年目となる呉

南ロータリークラブが推進しているポリオ撲滅のためのエコキヤップ運動は、活動当初の生徒会の取組みで地域の施設等にも協力をおおき、市民センターに回収ボックスを設置させていただきました。今では地域の皆様から「キヤップは中学校に」という取組みが定着し、多くの方々が郷原中学校にエコキヤップを届けてくださっています。また、校内でも生徒会の委員会を中心にエコキヤップ運動の呼びかけを行い、学校の玄関に回収ボックスを設置して、年間平均して

約十五万個以上を回収しています。この度の受賞は、現在の私たち生徒会だけでなく、郷原中学校の先輩方の取組み、広島県呉市の郷原地区の地域の方々のご協力の賜物と考えております。関係の全ての方々に感謝すると共に今後もエコキヤップ運動を含めた地域貢献やボランティア活動に積極的に取り組んでいきたいと思っております。最後になりましたが、「日本善行会」の益々の発展を祈念いたします。本日は誠にありがとうございます。

支部だより

群馬県北毛支部

春の環境美化活動の実施について

去る四月二十九日(土)渋川市の利根川河川敷公園と北橋総合グラウンド周辺において、大同特殊鋼無線赤十字奉仕団、共愛学園前橋国際大の学生ボランティアと合同の環境美化活動を行いました。この環境美化活動には、当支部長以下四十五人の会員、大同特殊鋼無線赤十字奉仕団十四人、共愛学園前橋国際大の学生



ボランティア一人の総勢六十人が参加し、空き缶やペットボトルなどのごみ拾いを行いました。同支部の会員は日頃から、散歩しながらごみ拾いなどのボランティア活動を行っています。令和三年度から同支部の事業活動の一環として、会員融

和のため、環境美化活動を計画しました。この環境美化活動は、年二回(春と秋)実施する計画です。今回で三回目となり、大勢の会員はもとより、会員との繋がりのある大同特殊鋼無線赤十字奉仕団から合同参加の申し出があり、また、共愛学園前橋国際大の学生ボランティアからも参加希望の申し出があったことから合同での開催となりました。青空と新緑のもと、利根川の清流を間近に見ながら実施したところ、空き缶、ペットボトルなどのごみのほか、壊れた一輪車も拾い集められ、その量は、軽トララック約一台分と、思いも寄らない



沢山のごみを拾い集めることができ、参加者全員が環境美化活動の充実感と意識高揚を図ることができました。これらの状況が、地元紙「上毛新聞」に五月十日掲載され、大いに善行精神をアピールすることが出来ました。